

意外と知らない！ 弁護士の日常とは？



今回のコラムでは、弁護士の日常を紹介したいと思います。巷（ちまた）では、定期的に弁護士モノのドラマとかが流行ったりして、ガッ○ーみたいな弁護士がいたりいなかったりして、いかに毎日が面白おかしくドラマチックなんじゃないかと想像される皆さまもいらっしゃるかもしれません。当たっているところもあれば、外れているところもあります。

まず、当たっているところ。「○ッキーみたいな弁護士が！」と言いたいのですが、このあたりは極めて主観的な評価に基づくため、当職には正確に判断しかねます。すみません。

で、これは当たっているんじゃないかと言えそうなところとして、ドラマチックな話は多いです。会社や人物が特定されてしまうことは、守秘義務があり家族にも決して言えません。ニュースで報道される事件を扱うこともありますし、芸能人の方がご相談にいらっしゃることもあります。

トラブルごととなりますと、人の欲望、感情、思惑が複雑に絡み合って、こんがらがって、それはもう大変だったりします。時にしんみりすることもあり、時に滑稽だったりすることもあり、人の世の悲喜こもごもを窺（うかが）い知ることができるのも

弁護士の仕事の醍醐味かもしれません。

それでは、外れているところ。ドラマでは、1話ごとに一つの事件にかかりきりです。しかし、弁護士は、売れっ子であればあるほど、同時並行で多くの事件を抱えています。当事務所の場合、200 社を超える顧問先から担当弁護士宛にひっきりなしに相談が来ている状況。

加えて、それぞれの弁護士が、労働事件、経営権をめぐる争い、取締役会や理事会への参加、契約トラブル、破産事件、交通事故、相続事件、離婚事件、刑事事件、大学の講義、セミナー講演と数多くの事件・案件を抱えています。忙しいことこの上ないというのが正直なところですよ。マルチタスクで事件をどんどん処理してゆく能力がとても重要です。

ということで、当職のとある 1 日のタイムスケジュールをご紹介します。最近はWEB会議が増え、どんどん会議が入ってくるようになり、コロナになって逆に忙しくなっている状況です。非常にありがたいことなのですが、身体ばかりは限界がありますため、健康には気を付けます。

（弁護士 竹中一真）

弁護士 竹中のとある 1 日のスケジュール

7 時 00 分：起床

朝食準備・朝食（共働きで金融機関勤務の妻が早朝出社のため）

8 時 00 分：子どもを学校に送る

9 時 00 分：事務所に到着。メールチェック、電話かけなど

10 時 00 分：顧問先の担当取締役と WEB 会議
訴訟準備の打ち合わせ

11 時 30 分：行政書士事務所ランチミーティング
受任業務の進捗確認、売上げの報告と見込み、今後の経営方針について

13 時 00 分：メールチェック、電話対応、起案